

# クローズアップ インタビュー



黄綬褒章受章者 亀島富造氏 (57歳)

## 主な略歴

- 昭和40年～昭和52年8月 「亀島商店」に就職
- 昭和52年9月～平成14年9月 「屋根富」創業
- 平成7年4月～現在 愛知県瓦高等職業訓練校実技指導員
- 平成12年8月～平成18年12月 愛知県瓦屋根診断技士会会長
- 平成19年1月～現在 愛知県瓦屋根診断技士会相談役
- 平成14年9月～現在 株亀島瓦店（常務取締役兼工事部長）
- 平成15年11月 愛知県知事表彰「愛知の名工」
- 平成16年11月 厚生労働大臣表彰「現代の名工」

## 受章の感想

瓦の産地である「高浜」で瓦に囲まれ生まれ育ち、現在も瓦ぶき工としてがんばっています。日々勉強の中、この受章はとても重く感じます。皆さまのおかげだと感謝しています。

授章式では、全国から多くの方が集まり驚いたとともに、瓦ぶき関係での受章者が少ないことが残

念に思いました。

## 仕事について

### 信頼

どんな仕事でも信頼されてこそ成り立ちます。長年培ってきた信頼があり、今では全国各地から仕事の依頼が来ます。その中には文化財の修理修復や、愛・地球博では「サツキとメイの家」の屋根担当もさせていただきました。

また、最近では瓦屋根診断技士もしていますので全国からの雨漏りなどの相談に応じしています。

### 苦労

若い頃の苦労は、瓦を屋根まで自力で運ぶ肉体的につらい仕事でしたが、歳を重ね技術が身につくほど難しい仕事の依頼が増えてきました。仕事の後は、他の手法が無かったかなど、仕事を振り返り次の仕事に活かせるように努力しています。

### 喜び

難しい仕事を受け、やり遂げたときは、すごく嬉しいです。神社仏閣などは、屋根の形状に加え歴史・品格などを損なわないように修理しなくてはなりませんので難しいのです。特に思い出のある仕事は西尾市にある歴史ある神社の

屋根を修理したときのことです。この修理は自分の評価で最高点でした。

### 育てる

愛知県瓦高等職業訓練校では、全国から就学に来た生徒が職人として巣立っていきます。自分の教えた生徒が技能競技大会や各地でがんばっている姿を見かけると大変嬉しく感じます。

## 今後の自分

このやりがいのある仕事が好きです。生涯現役でがんばり、この仕事を通じて皆さんに瓦の良さを伝えて行きたいと思います。また、ボランティアなどで皆さんに貢献できればと考えています。

## 若い人へ

人生において自分の考えだけで判断すること無く、人の話をよく聞くことにより、相手からの信頼を得ることが出来ます。いろいろな事の相談ができれば、悩みや心配事が軽減できるようになりますので、聞く耳を持つように努力してみてください。